

令和4年（2022年）6月14日  
VISH株式会社（ヴィッシュ株式会社）

## 幼児教育現場におけるICTの活用について

### －園がICT化するまでの試行錯誤－

4月25日（月）に開催したオンラインセミナーのレポートを公開

VISH株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：田淵 浩之）は、リンクエイジ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役：藤田 俊）との共催で2022年4月25日（月）に開催したオンラインセミナー『幼児教育現場におけるICTの活用について －園がICT化するまでの試行錯誤－』のセミナーレポートを公開いたしました。

**セミナーレポート公開中**

主催：LINKAGE VISH Inc.

# 幼児教育現場における ICTの活用について

－ 園がICT化するまでの試行錯誤 －

学校法人七松学園  
認定こども園  
七松幼稚園  
理事長・園長  
亀山 秀郎

**2022.4.25** 月  
**15:00～16:30** ZOOM 開催  
申込締切：2022年4月22日（金）17:00

藤田 俊  
リンクエイジ株式会社

西尾 真吾  
VISH 株式会社

■詳しいセミナーレポートはこちらよりご覧いただけます。

URL：<https://seminar.buscatch.com/hwmi>

また、ご好評に伴い、共催オンラインセミナー第3弾を開催させていただきます。

2022年7月12日（火）開催予定で、詳細が確定しましたら、追ってご案内いたします。

## ■開催概要

- ・開催日時：2022年4月25日（月）15時00分～16時30分
- ・開催方法：Web開催（Zoom）
- ・参加費用：無料
- ・参加者数：69名
- ・主催：リンクエイジ株式会社、VISH株式会社

## ■プログラム

1. オープニング
2. 『園がICT化するまでの試行錯誤』  
亀山 秀郎（学校法人七松学園 認定こども園 七松幼稚園 理事長・園長）
3. ディスカッション  
亀山 秀郎（学校法人七松学園 認定こども園 七松幼稚園 理事長・園長）  
藤田 俊（リンクエイジ株式会社 代表取締役）  
西尾 真吾（VISH株式会社 バスキャッチ担当）

## ■セミナー開催背景

企業や行政で進むICT化の波に乗りそこねている印象の強い幼児教育業界ですが、2020年から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）をきっかけに、全国の多くの幼稚園・保育園・認定こども園では端末整備が進み、Wi-Fiやクラウドサービスを活用できる環境が整いつつあります。業務効率化のICT化だけではなく、教育活動のICT化に興味関心のある先生方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

2022年4月25日（月）に開催された本セミナーでは、学校法人七松学園 認定こども園 七松幼稚園の亀山 秀郎（かめやま ひでお）理事長をゲスト講師に迎え、コロナ禍より実践されているICTを活用したポートフォリオの作成、タブレットやカメラ・プロジェクターを活用した園児との教育活動、YouTubeを活用した家庭向けの保育動画配信、ビデオ会議システムZoomを活用したオンライン保育など、全教職員でICT化に奮闘してきた具体的なエピソードを語っていただきました。

## ■セミナーまとめ(亀山理事長のまとめより抜粋)

保育充実化に向けた試行錯誤について、私たちがやってみたことをお話ししました。保育者の発想を広げるきっかけになれば幸いです。

保育充実化では、保育の時間を豊かにするために保育者自身の発想を広げて、子どもたちにデジカメを渡すだけでいろいろと話が広がります。またデジカメでもiPadでも動画撮影ができます。写真や動画を子どもの目線で撮影し、子どもたちにドキュメンテーションづくりをぜひやらせてあげてください。

子どもたちが園のドキュメンテーションをすると、子ども自身が好きなところで写真を撮ってくれます。先生が意図して用意したところは、意外と子どもに伝わっていないことも見えてきます。

例えば、子どもたちに危ないところってどこ？と訊ねると、子どもたちは危ないところの写真を撮ってくれます。ここで押されたことがある、ここで転んだ、とかが写真になります。それは子どもたち自身の直接的、具体的な体験とつながっていて、体験したことで子どもたちの発想も広がるんです。先生自身も直接的・具体的な体験とのつながりを常に意識してやってみてください。すると2つも3つも進んだ取り組みを子どもたちが考えてくれます。

そして、対話、情報活用と探究心を育む道具がデジカメやiPadです。これらを折り紙、ハサミと同じように使ってみる感覚が必要となります。

ハサミなどの道具と同様にデジカメやiPadの使い方も教えてあげてください。例えばパシャパシャ撮るけれども、それは撮られるお友だちが撮って良いつて本当に言っていたのかも大切です。子どもたちにとっては撮ったら嫌なものもたくさんあります。隠していたのに先生に撮られた、とか言うかもしれません。そういったものに耳を傾けてください。

本人にも肖像権があるし子ども自身が隠しているものに著作権があるかもしれません。安易に撮影して良いわけじゃないんです。保育者のリテラシーを上げることは、とても大切なことになります。

主体的・対話的で深い学びを実現し、小学校以降に学びや生活の基盤を育成することにリンクされるよう皆さんも、チャレンジしていただければと思います。

## ■VISH株式会社 会社概要

VISH株式会社は、日本の真ん中・愛知県名古屋市からインターネットを活用し、皆さまの想い（Vision）を共有（Share）するクラウドサービスの開発・提供を行っています。2010年にリリースした「園支援システム+バスキャッチサービス」は、園バス運行情報、園児管理を中心に、保護者の連絡手段のデジタル化、教職員の働き方改革に寄与する低価格なクラウドサービスで、2022年6月1日時点で、全国2,046の施設で利用されています（解約・閉園除く）。

### ▼バスキャッチサービス WEBサイト

<https://www.buscatch.com/>

### ▼園支援システム+バスキャッチサービス WEBサイト

<https://www.buscatch.com/solution/kindergarten/>

## ■リンクエイジ株式会社 会社概要

リンクエイジ株式会社は、インターネット写真サービス「memoridge」を運営しています。教育機関を中心にスポーツ団体や、さまざまなイベントの写真や動画撮影、インターネット上での販売を行うサービスです。現在は延べ全国1,700団体以上の導入実績があります。2021年10月には新サービス「memoridge drive（メモリッジドライブ）」を開始いたしました。「全ての愛を力に変える」をミッションに写真1枚から、愛情を増幅させ、世の中に変わらない愛の循環を生んでいきたい。そして、その愛はきっと明日を生きる力に変わる。そんな愛ある会社を目指しております。

### ▼memoridge WEBサイト

<https://www.memoridge.com/>

### ▼memoridge drive WEBサイト

<https://bit.ly/3CpF2CF>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

V I S H株式会社（ヴィッシュ株式会社）

電話：052-232-2311 メール：[info@buscatch.com](mailto:info@buscatch.com)

担当：西尾 真吾（にしお しんご）